

# つなぐ！むらづくり便り

中山間地域振興に役立つ情報を新潟県からお届けします！

## 地区の目指す将来像の話し合い・共有における事例紹介

地区課題の解決に向けては、住民同士の意見交換による計画策定が欠かせません。しかし、参加者の方の想いは様々であり、話し合いがスムーズに進まない場面も多くあります。

今回は、話し合いでの失敗事例と、そこから考えられる対応について紹介します。

### 問題



話し合いにおいて、声の大きい人の意見に引張られてしまう！

### 状況

- ・地区の強み、弱みの発見をテーマとしたワークショップにおいて、声の大きい人が「この話し合いでは、農業関係の意見を出さないといけない！」と発言。
- ・その場で「農業以外の意見を出していただいても大丈夫です」とフォローをしたが、流れは変わらなかった。
- ・その結果、話し合いが農業の問題に偏ってしまい、他の参加者の方は消化不良となった。

### 対応

声の大きい人への個別訪問

話し合いの主旨をご理解いただくことや、当人が考える課題や問題点等の意見の吸い上げを目的に個別訪問を実施

失敗！



個別訪問をした後の対応が悪かった...

### 結果

- ・個別訪問で主旨はご理解いただき、意見を吸い上げられたものの、個別訪問後の地区へのフィードバックが足りず、結果として声の大きい人の意見が強調されてしまい、住民全体での課題設定とならず地域全体での主体性向上に繋がらなかった。

### 気付き

地域全体の主体性を高めるためには、他の住民の意見も吸い上げる取組を実施！

- ・アンケートなど、声を出しにくい人の意見を吸い上げるための仕掛けをつくる
- ・意見収集後は、意見を反映した地域での話し合いを実施する